

平成 25 年度 秋 田 県 立 秋 田 工 業 高 等 学 校

同 窓 会 総 会

《日 時》 平成 25 年 5 月 25 日 (土)

総 会	午後 4 : 00 ~
アトラクション	午後 4 : 30 ~
新会員歓迎会・懇親会	午後 5 : 00 ~

《会 場》 パーティーギャラリー イヤタカ 秋田市中通6丁目1-13 (TEL : 018-835-1188)

【 次 第 】

1. 開会のことば
2. 校歌斉唱
3. 会長あいさつ
4. 校長あいさつ
5. 叙勲者紹介
6. 黙 禱
7. 議長選出
8. 議 事

議案第 1 号 平成 24 年度事業報告及び会計決算報告並びに会計監査報告について

議案第 2 号 平成 25 年度事業計画(案)及び会計予算(案)について

議案第 3 号 役員改選について

議案第 4 号 県警金砂会設立について

議案第 5 号 110 周年記念事業について

議案第 6 号 その他

9. 閉会のことば



秋田工業高校校歌

相馬 御風 作詞
宮原 禎次 作曲

一、太平山の凛たる雄姿

清河旭川の淀まぬ心

勤勞の精實実の徳

金砂健児の指さす所

希望の光世界を輝らす

二、物皆凍る寒風おろし

身を焼く炎暑何かはあらん

剛健の意氣不断の努力

金砂健児の勢力見よと

黒煙日每天へと沖す

三、進みて止まぬ科学の力

わが身に休し工業界の

未来の使命肩にと担ふ

金砂健児が御国に誓ふ

忠誠これぞ不滅の生命

晴れの叙勲・褒章の紹介 (敬称略・事務局判明分)

平成24年秋の叙勲

旭日小綬章 相澤 孝(昭和34年電気科卒業)秋田市
放送事業功労。元秋田テレビ社長。

旭日単光章 加藤 久孝(昭和36年電気科卒業)大仙市
土地改良事業功労。大仙市協和土地改良区理事長。

平成25年春の叙勲

瑞宝単光章 篠ヶ瀬 雅弘(昭和22年採鉱科卒業)秋田市
統計調査功労。国税調査など元各種統計調査員。

(哀悼)謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成24年5月1日～平成25年4月1日(敬称略・事務局判明分)

個人ご芳名	卒年	科	住所	備考
又井 阿素雄			秋田市	旧職員
三浦 要助	昭14	土木	秋田市	旧職員
金 英一	昭25	工化	秋田市	旧職員
藤原 潤				旧職員
石井 正	昭5	機械	大阪府	
大沼 重雄	昭11	機械	潟上市	
三浦 清一	昭14	機械	大館市	
久保 忠治	昭20	機械	秋田市	
石田 幸一	昭26	機械	由利本荘市	
小野 直治	昭30	機械	秋田市	
澤田 稔	昭31	機械	浜松市	
松井(佐藤)建	昭32	機械	静岡市	
小野寺 繁郎	昭17	電気	さいたま市	
平沢 賢三	昭17	電気	秋田市	
小山 作治郎	昭20	電気	横手市	
三浦 満夫	昭28	電気	東京都	
木村 誠治	昭30	電気	秋田市	
高坂 知義	昭35	電気	愛知県	
中津 英昭	昭37	電気	にかほ市	
安達 忠宏	昭39	電気	福岡市	
橘(畠山)正	昭16	土木	秋田市	
天野 芳朗	昭24	土木	北海道	
目黒 秋雄	昭29	土木	北海道	
三浦 謹之助	昭21	建築	神奈川県	
菅原 貞治	昭26	建築	秋田市	
伊藤 剛一	昭37	建築	秋田市	
保坂 宗彦	昭41	建築	群馬県	
小幡 満	昭16	探鉱	仙台市	
堀 満雄	昭44	探鉱	秋田市	
佐藤 恵次	昭48	地質工業	青森県	
村上 通郎	昭26	冶金	秋田市	
瀧口 毅	昭32	冶金	愛知県	
鈴木 哲朗	昭32	工化	奈良県	
鈴木 宏	昭32	工化	秋田市	
河村(高橋)修	昭37	工化	由利本荘市	

議案第1号の1

平成24年度
秋工同窓会本部事業一覧 (案)

	期 日	事 業 名	場 所
1	4月19日(木)	企画委員会1回目	同窓会館
2	5月11日(金)	役員・幹事会	第一会館
3	5月26日(土)	平成24年度年次総会・新会員歓迎会	第一会館
4	8月23日(木)	広報委員会1回目	同窓会館
5	9月19日(水)	秋工祭ブース打合せ、広報・企画委員会2回目	同窓会館
6	10月20日(土)	秋工祭同窓会ブース開設	母校実習棟
7	10月24日(水)	広報委員会3回目	同窓会館
8	11月20日(火)	同窓会誌 第47号発行	同窓会館
9	3月 1日(金)	同窓会長授与式	母校体育館
10	3月 1日(金)	同窓会入会式	母校体育館
11	3月19日(火)	第1回会長・副会長会議	楽味

※ 同窓会長賞 技術・技能の分野で特に優れた卒業生 (H24年度 4名受賞)

機械科A組 佐藤 司 (さとう おさむ)
電気科 中嶋一樹 (なかじま かずき)
電気科 長浜壮大 (ながはま そうだい)
土木科 伊藤一品 (いとう かずあき)

平成24年度
秋工同窓会支部・部会総会開催一覧 (案)

	期 日	支部・部会名	場 所	会 場	出席者
1	6月 9日(土)	東海支部総会	愛知県名古屋市	サンルートプラザ名古屋	同窓会長
2	6月10日(日)	関西支部総会	大阪府吹田市	サニーストンホテル	〃
3	6月11日(月)	金砂クラブ4部会総会	秋田市	イヤタカ	〃
4	6月22日(金)	北海道総支部総会	北海道札幌市	ホテルポールスター札幌	〃
5	6月30日(土)	男鹿支部総会	男鹿市	きりん亭	〃
6	7月13日(金)	東北機械支部総会	秋田市	第一会館本館	〃
7	7月21日(土)	土木科同窓会総会	秋田市	第一会館本館	〃
8	11月10日(土)	東京秋工会総会	東京都千代田区	アルカデア市ヶ谷私学会館	〃
9	11月11日(日)	静岡支部総会	静岡市葵区	グランディエール・ワルツ	〃
10	11月22日(木)	秋田市南部地区金砂会総会	秋田市	第一会館本館	〃
11	11月29日(木)	大仙仙北支部総会	大仙市	大曲プラザたつみ	〃
12	12月 3日(月)	秋田市役所金砂会総会	秋田市	秋田キャッスルホテル	〃

議案第1号の2

平成24年度 一般会計決算書(案)

収入総額	6,683,435
支出総額	3,948,686
差引残高	2,734,749

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減		摘 要
			増	減	
会 費	3,678,000	4,619,830	941,830		
1.在校生会費	1,278,000	1,266,100		11,900	生徒12ヶ月分
2.同窓生会費	2,400,000	3,353,730	953,730		1483人
繰 越 金	1,680,365	1,680,365			23年度繰越金
広告賛助金	250,000	376,240	126,240		36社
雑 収 入	635	7,000	6,365		ネクタイピン売上
合 計	5,609,000	6,683,435	1,074,435		

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減		摘 要
			増	減	
会 議 費	400,000	177,460		222,540	
1.総 会 費	200,000	115,200		84,800	
2.役員会議費	200,000	62,260		137,740	
事 務 費	1,956,000	1,640,281		315,719	
1.事務手当	1,176,000	1,176,000			事務員手当
2.事務諸費	50,000	31,073		18,927	事務局消耗品
3.印刷費	30,000	0		30,000	
4.通信費	250,000	177,262		72,738	電話・FAX・郵送代
5.旅 費	300,000	223,222		76,778	支部総会出席
6.光熱費	120,000	27,544		92,456	灯油・ガス代
7.消耗品費	30,000	5,180		24,820	事務用消耗品
事 業 費	2,700,000	1,717,505		982,495	
1.会報発行費	2,200,000	1,332,684		867,316	印刷代、封筒代、送料
2.慶弔費	100,000	76,380		23,620	
3.支部祝金	200,000	120,000		80,000	
4.新会員歓迎費	100,000	95,445		4,555	会員章 他
5.褒賞費	50,000	58,800	8,800		同窓会長賞(4名)
6.同窓会ブース準備費	50,000	34,196		15,804	
雑 費	253,000	113,440		139,560	
特別会計繰入金	300,000	300,000			
合 計	5,609,000	3,948,686		1,660,314	

平成24年度 特別会計決算書(案)

1. 基本積立金

収入総額	4,968,055
支出総額	0
<hr/>	
差引残高	4,968,055

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減		摘 要
			増	減	
繰 越 金	4,667,333	4,667,333			
収 入	300,000	300,000			
1. 繰 入 金	300,000	300,000			一般会計より
雑 収 入	667	722	55		預金利息
合 計	4,968,000	4,968,055	55		


監 査 報 告 書


平成24年度秋田工業高等学校同窓会の一般会計、特別会計について決算書にもとづき、帳簿及び証拠書類を精査いたしましたところ、収入支出ともに正確かつ適正に処理されていることを認めます。

平成25年 5 月 7 日

秋田工業高校同窓会

会 長 太 田 光 重 様

監 事 三 浦 清 一 

監 事 田 仲 雅 美 

議案第2号の1

平成25年度 事業計画(案)

<重点努力目標>

1. 同窓会活動の活性化と会員が多数参加出来る魅力ある活動を目指す。
2. 今後の同窓会事業への意見を会員から積極的に募ると共に、会費納入率アップを目指す。

<具体的取り組み事項>

1. 各委員会(名簿・広報・財政・企画)間の連携と協力で活性化案を考え、推進する。
2. 役員・幹事会の活性化により各支部・各OB会とのつながりを強める。
3. ホームページを随時更新することにより、最新の同窓会活動について広報する。
4. 同窓会誌の発行を11月に発行する。
5. 同窓会員の個人情報管理に努める。
6. 全国大会出場を果たした母校の部活動を支援する。

<行事予定>

期 日	内 容	場 所	備 考
5月15日(水)	役員会	パーティーギャラリー イヤクカ	
5月25日(土)	年次総会・新会員歓迎会	パーティーギャラリー イヤクカ	
10月19日(土)	秋工祭同窓会ブース設置、一般公開参加	母校実習棟	
11月中旬	同窓会誌第48号発行		
3月1日(金)	新会員入会式	母校体育館	

*10月19日(土)の秋工祭に同窓会員のみなさまは是非お越しくださりますようお願いいたします。最近では、同窓会支部である金砂4部会のご厚意により同窓会ブースが設置されております。また、校舎改築工事が進行中です。校舎が変わりつつある母校に面影さがしをしてみませんか。

平成25年度 一般会計予算書(案)

収入総額	6,615,000
支出総額	6,615,000
差引残高	0

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減		摘 要
			増	減	
会 費	3,629,400	3,678,000		48,600	
1.在校生会費	1,229,400	1,278,000		48,600	年間1,800円×683名
2.同窓生会費	2,400,000	2,400,000			2,000円×1,200人
繰 越 金	2,734,749	1,680,365	1,054,384		24年度繰越金
広 告 賛 助 金	250,000	250,000			25社
雑 収 入	851	635	216		
合 計	6,615,000	5,609,000	1,006,000		

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減		摘 要
			増	減	
会 議 費	400,000	400,000			
1.総 会 費	200,000	200,000			
2.役員会議費	200,000	200,000			
事 務 費	1,956,000	1,956,000			
1.事務手当	1,176,000	1,176,000			事務職員手当
2.事務諸費	50,000	50,000			事務局消耗品
3.印刷費	30,000	30,000			封筒印刷
4.通信費	250,000	250,000			電話・FAX・郵送代
5.旅 費	300,000	300,000			支部総会出席
6.光熱費	120,000	120,000			灯油・ガス代
7.消耗品費	30,000	30,000			事務用消耗品
事 業 費	3,010,000	2,700,000	310,000		
1.会報発行費	2,500,000	2,200,000	300,000		印刷代、封筒代、送料
2.慶弔費	100,000	100,000			
3.支部祝金	200,000	200,000			
4.新会員歓迎費	100,000	100,000			会員章 他
5.褒賞費	60,000	50,000	10,000		同窓会長賞
6.同窓会ブース準備費	50,000	50,000			秋工祭
雑 費	249,000	253,000		4,000	
特別会計繰入金	1,000,000	300,000	700,000		
合 計	6,615,000	5,609,000	1,006,000		

平成25年度 特別会計予算書(案)

1. 基本積立金

	収入総額	5,969,000
	支出総額	0
	差引残高	5,969,000

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減		摘 要
			増	減	
繰 越 金	4,968,055	4,667,333	300,722		
収 入	1,000,000	300,000	700,000		
1. 繰 入 金	1,000,000	300,000	700,000		一般会計より
雑 収 入	945	667	278		預金利息等
合 計	5,969,000	4,968,000	1,001,000		

平成23・24年度(旧役員)

NO	役名	氏名	卒年・担当	備考
1	会長	太田光重	M31	
2	副会長	鈴木誠一	A38 名簿委員会担当	
3	副会長	土田久美子	A40 ポプラ会会長	
4	副会長	中野直	M42	
5	副会長	志賀新一	C42 広報委員会担当	
6	副会長	嵯峨兼信	C45 財政委員会担当	
7	副会長	池田昌憲	A47 企画委員会担当	
8	監事	三浦清一	M41	
9	監事	田仲雅美	A45	
10	幹事長	伊勢谷均	K54	
11	副幹事長	熊谷正	M48	

議案第4号

秋田県警金砂会規約

(名称)

第1条 この会は、「秋田県警金砂会」と称し、事務局を秋田県警察本部内に置く。

(目的)

第2条 この会は、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

(組織及び会員)

第3条 この会は、秋田県立秋田工業高等学校を卒業した者又は同校に在籍したことのある者で、現に秋田県警察に勤務し又は勤務していた者をもって組織する。

(役員)

第4条 この会に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 幹事(事務局、会計) 2名
- (4) 監事 1名

2 会長及び副会長は会員の互選とし、幹事及び監事は会長が指名するものとする。

(任期)

第5条 役員は、任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(役員の仕事)

第6条 会長は、この会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長の仕事を代行する。
- 3 事務局幹事は、会長及び副会長を補佐し、会員間の連絡・調整を行う。
- 4 会計幹事は、会費を管理し、収支を行う。
- 5 監事は、会計の監査その他必要な調査を行う。

(顧問)

第7条 この会に、顧問置く。

2 顧問は、この会の運営について指導・助言を行う。

(会議の種類)

第8条 この会の会議は、総会及び役員会とする。

(総会)

第9条 総会は、年1回2月に開催する。

(懇談会)

第10条 役員会は、会長が必要と認めた場合に随時開催する。

(経費)

第11条 この会の経費は、会員が納付する会費をもって充てる。

- 2 会員は、毎年総会開催日までに会費を納付するものとする。この会の会費の額は、役員会が定めた額とする。

(支出)

第12条 この会の経費は、次の場合に支出する。

- (1) 会員が退職するとき。
- (2) 会員本人が現職時に亡くなったとき。
- (3) 秋田県立秋田工業高等学校に所属する部活動(団体に限る。)が全国規模の大会に出場するとき。
- (4) その他会長が必要と認めたとき。

(支出の定義)

第13条 前条第1号及び第2号の支出は、原則として会費を納付していた者を対象とする。

- 2 前条第3号の支出は、当該部活動のOB又はその関係からの申告によるものとする。
- 3 支出する額は、会長が定める額とする。

(会計報告)

第14条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとし、会計は、会計年度終了後、当該年度の収支を会員に書面により報告するものとする。

附則

この規約は、平成24年2月29日から施行する。

会員104名 (平成24年5月25日現在)

議案第 5 号

学校の予定

- ・平成26年9月26日県民会館にて記念式典を実施予定。
- ・110周年記念誌をつくる。

役員会からの案

- ・現時点におきましては、同窓会としては記念の建造物は製作しない方向で考えております。これは、校舎改築工事が今年度より進行し、平成30年に完成予定であるからです。そこで、110周年の記念事業としまして、同窓会員の親睦を図るような事業を計画しようとしております。みなさまからのご意見・ご要望がありましたらよろしくお願いいたします。

議案第 6 号

その他

- ・竿燈会の継続活動のための同窓会からの一部支援について
学校の110周年記念事業の一つとして竿燈会を設立し、本校生が竿燈に参加しています。110周年が終わった後の継続活動のために予算の裏付けが必要となります。PTA関係からの予算支出を主としますが、同窓会からも平成26年度から年間20万円の継続支援をできればと思います。
- ・硬式野球部トイレ設置に伴う一部支援について
現在野球部が活動させていただいている金砂キューブにはトイレがありません。また、硬式野球部部室は経年劣化に伴い厳しい状況であります。他の部活動の部室は校舎改築工事に伴いまして新しくなる予定ですが、硬式野球部の部室だけは工事の目処が立っておりません。そこで、校舎改築期成同盟会からと硬式野球部関係者により支出をして部室の工事を計画しております。現時点で部室約1200万円と現部室取り壊し費用約200万円が見積もられております。そこで、同窓会の特別会計から50万円から100万円の範囲内で一部支援ができればと思います。

各委員会からの連絡

名簿委員会より

- ・来年度は同窓会名簿発行の年になります。それに伴い今年の6月下旬ころから名簿についてのデータ収集確認作業が始まります。今年も株式会社サラトにて作成しますので、確認用はがきが届きましたらご協力をお願いいたします。
(今年度は5月22日に株式会社サラトさんが同窓会館に来校しました)

広報委員会より

- ・今年度は昨年度以上にホームページの更新回数を増やしたり、コンテンツ（掲載内容）の充実を図り、同窓関係の情報を提供します。また、メール配信なども現在計画中です。
(今年度は5月15日、20日、24日と広報委員が打ち合わせ会を開き、内容検討を進めています)

財政委員会より

- ・同窓会費の納入時の混乱を防止するために、年会費2000円と明記した振込用紙を同封する。また、同窓会に寄付金を納入したい人のために、年会費+寄付金用として金額が書いていない振込用紙もさらに同封する。同窓会誌に以上の点を明記し、混乱がないように工夫していきます。
- ・総会時の新会員の懇親会費はここ数年間はいただいていたが、来年度からは新会員は会費1000円を徴収させていただきます。

事務局からの連絡

- ・いままで以上に各支部との連絡を密にしていきたいと思っております。つきましては、みなさまからの各支部情報を教えていただければ助かります。現時点で活動が困難な支部がありましたら事務局までご連絡ください。現状を踏まえて、役員会をとおして支部の再編成など今後の活性化の対策を行っていききたいと思います。

応援歌

副歌

- 一、天地の精気金砂がに
こもりてここに八十年
その春秋に磨き来し
各校の数は多けれど
ことに優れし秋工の
誉は世々に尽きざらん
- 二、天地の精気金砂がに
こもりてここに八十年
その春秋に鍛へ来し
秋工の健児の意気高し
いざや立ていざ奮へ
ああ必勝の時ぞ今

必勝の歌

- 一、赤き血潮の丈夫よ
鍛へ鍛へしその腕を
今ぞ現す時は来ぬ
奮え鍛えしその腕を
松の緑は尽きるとも
選手の榮譽は尽きざらん
- 二、赤き血潮の丈夫よ
鍛へし強き腕もて
期せ必勝の光栄を
汚すな金砂が健児の名
世も天地も尽きるとも
選手の榮譽は尽きざらん

秋工健児

- 一、我が頼もしき選手等よ
清き誇りを胸にこめ
骨肉飛散の奮闘に
栄えある園の花となれ
- 二、空を彩るコバルトの
秋工健児の応援旗
熱声あふれる声援に
いざ立て秋工のチャンピオン

出陣の歌

- 一、時は来たれり我が選手
奮へ戦へ倒るまで
赤き心の熱血を
手形が原に流すまで
- 二、栄ある友よ我が選手
感謝に燃ゆる心もて
炎と赤き真心の
紅蓮の色を糧として

金砂健児

- 一、風 瀟々 と雲を呼ぶ
大平下る 涼風に
金砂が原頭只中に
我等が健児のその勲
- 二、姿も雄々しき太平を
朝な夕なに仰ぎみて
鍛へし我等が健男児
戦ふ時ぞ今来る

中春の光

- 一、中春の光空に満つ
春たけなわの金砂がに
いざ立て健児秋工の
日頃の腕を試しめん
- 二、幾日ここに鍛へたる
双^{もろ}の腕に満ち^み充てる
力試さん時ぞ今
征け征け勝利の峰高く

秋工音頭

- 一、山は太平流れは旭
丘の緑がにっこり笑う
風はそよ風桜も咲いて
八十余年を語り合う
ホんに秋工はよい所
ソレよい所
- 二、強い体で心はやさし
話しかければにっこり笑う
意気は剛健努力は不断
一千二百が肩を組む
ホんに秋工はよい所
ソレよい所
- 三、進む料学へ輝く瞳
望み大きくにっこり笑う
金砂健児は技術に生きて
先輩二万ぼくどいる
ホんに秋工はよい所
ソレよい所

金砂行進曲

- 一、太平の空^{こむらさき}濃紫
望みは清し旭川
此金砂がに宿りして
八十余年の春と秋
栄えある歴史思ふ時
胸に血潮の波おどる
- 二、集へる健児幾千の
心は一つ諸共に
花なり実なり工業の
基^{もとみ}を養い磨くなり
鍛え上げたる腕は
世の濁流も物ならず

ラグビーの歌

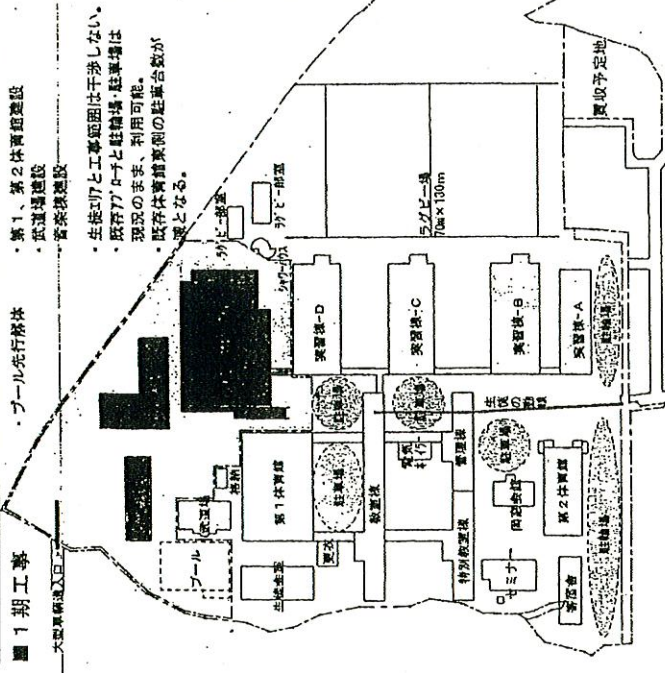
- 白^{はくが}凱^{がい}々の雪にて
球蹴れば銀塊^{ぎんかい}飛ぶ
紫白^{たけき}の猛^{しるし}き徴^{しるし}には
世助の誉高し
勇めよ我友よ
いざ征けいざ征けよ
正義の小旗なびき
自助^{じじょ}の劍輝く

トララ秋工秋エトララトララ
トララ秋工秋エトララトララ

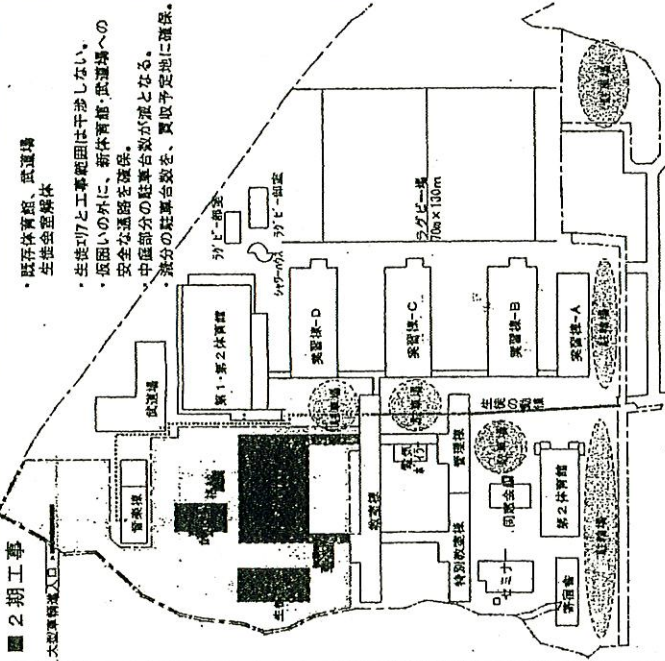
凱歌

- 戦雲すでおさまりて
敵軍今や影いづこ
見よ燦然^{さんぜん}と輝ける
我等が秋工の旗の色

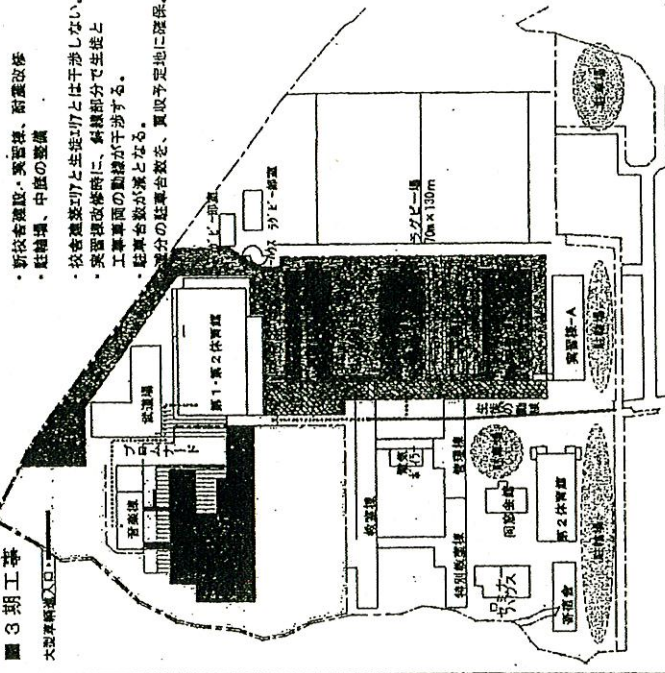
第1期工事



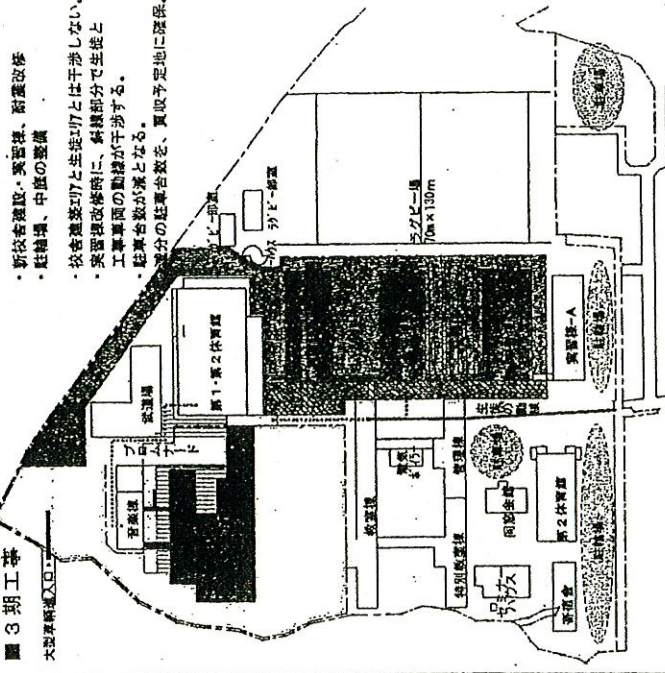
第2期工事



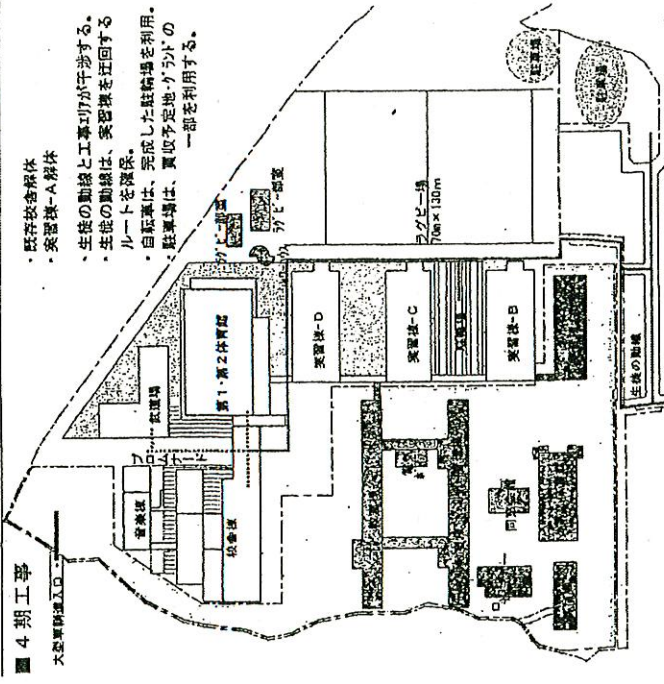
第3期工事



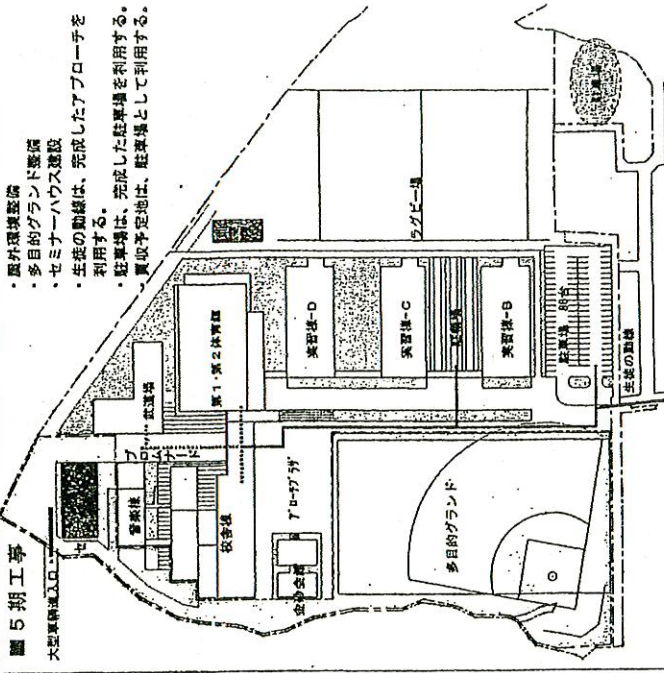
第5期工事



第4期工事



第5期工事



VIII. 同窓会関係

秋田県立秋田工業高等学校 同窓会会則

平成23年5月27日 改正

秋田県立秋田工業高等学校 同窓会会則

【総則】

- 第1条 (名称) 本会を秋田県立秋田工業高等学校同窓会と称する。
- 第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り鉱工業諸般の問題を考究し併せて母校を後援することを目的とする。
- 第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため、会員名簿及び機関誌の発行など必要な事業を行う。
- 第4条 (所在地及び事務局) 本会の所在地及び事務局を秋田県秋田市保戸野金砂町3-1に置く。
- 第5条 (会員) 本会会員は次の正会員と賛助会員で構成する。
- 一. 正会員 本校卒業生並びに修了生。
 - 二. 賛助会員 本校の職員及び本会の趣旨に賛同し会長の推薦した者。

【役員】

- 第6条 (構成) 本会は次の役員を置く。
- | | |
|----------------|---------------|
| 一. 名誉会長 1名 | 二. 顧問・相談役 若干名 |
| 三. 会長 1名 | 四. 副会長 若干名 |
| 五. 幹事長 1名 | 六. 副幹事長 若干名 |
| 七. 常任幹事、幹事 若干名 | 八. 監事 2名 |
- 第7条 (名誉会長) 秋田県立秋田工業高等学校長を名誉会長としてお迎えする。
- 第8条 (顧問・相談役) 会長は幹事会に諮り、顧問・相談役を推薦することができる。
- 第9条 (任期) 役員任期は2年とする。但し再任を妨げない。
- 第10条 (選出) 役員は会員の中から選出し総会の承認を得るものとする。
- 第11条 (任務) ①会長は会務を統轄し本会を代表する。
②副会長は会員を補佐し会長事故ある時はこれを代行する。
③幹事長は本会の会務実行を統轄する。
④副幹事長は幹事長を補佐し、必要あるときはその代行をする。
⑤常任幹事、幹事は本会の会務を分掌する。
⑥監事は会計事務等を監査する。
- 第12条 (事務局) ①本会の庶務、会計は同窓会係職員で構成する事務局があたる。
②会長は事務員を委嘱する。

【会議】

- 第13条 (総会) ①本会の通常総会は毎年5月に行う。必要に応じて臨時総会を開くことができる。
②総会は次の事項を議決する。
- 一 事業報告及び決算の承認
 - 二 事業計画及び予算の承認
 - 三 役員を選出
 - 四 会則の改正

五 その他必要と認められた事項

第14条 (幹事会) 幹事会は必要に応じて会長が召集し、次の事項を協議する。

- 一 総会に提出する案件
- 二 その他会務に必要な事項

【組織】

第15条 (専門委員会) 本会に企画、財政、名簿及び広報を担当する委員会を置く。

- ①各委員会は、会長が委嘱する幹事若干名をもって構成する。
- ②委員長は委員の中より互選する。
- ③副会長はいずれかの委員会を担当し、指導及び助言を行う。
- ④各委員会は、必要に応じて委員長が召集しそれぞれの事項について審議し、随時会長に意見を具申する。ただし必要により一部業務を執行する。

- 一 企画委員会 本会の企画、運営及び他の委員会に属さない事項に関すること。
- 二 財政委員会 本会運営のための財政全般に関すること。
- 三 名簿委員会 各年次の名簿整理の促進及び名簿発行に関すること。
- 四 広報委員会 「同窓会誌」の発行及び本会の運営上必要な広報に関すること。

第16条 (支部) 本会の支部に関する規程は別にこれを定める。

【会計】

第17条 (経費) 本会の経費は、会費、入会金、寄付金およびその他の収入をもってこれに充てる。

- 一 本会の正会員は、毎年会費を納入し入会者は入会に際し入会金を納めるものとする。
- 二 会費は年額2,000円とする。在校生は入会金5,400円を卒業時まで納入する。但し、賛助会員は会費を徴収しない。
- 三 会費および入会金の改正は総会の承認を得るものとする。但し、入会金については会長はあらかじめ学校長と協議しなければならない。

第18条 (基金) ①本会は基金を設けることができる。
②基金は一般会計の基金及び寄付金をもって積み立てする。
③本会の目的達成のため、基金の取りくずしが必要なときは総会の承認を得るものとする。
④基金の決算は監査を受け、監査結果を総会に報告し、承認を得るものとする。

第19条 (会計年度) 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

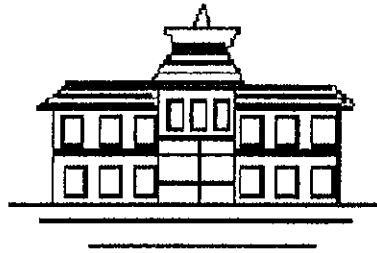
【裁決】

第20条 (裁決) 会議の議事は出席会員の多数決によるものとする。

但し、会則の改正は出席会員の三分の二以上の賛成者を要する。

第21条 (褒賞) 同窓会及び学校発展のため特に功績のあった者については、褒賞することが出来る。

付則 この会則は、平成23年5月28日から施行する。



同窓会館 (平成元年完成)

平成23・24年度(旧役員)

平成25・26年度(新役員) (案)

NO	役名	氏名	卒年・担当	備考
1	会長	太田光重	M31	再任
2	副会長	鈴木誠一	A38 名簿委員会担当	再任
3	副会長	土田久美子	A40 ポプラ会会長	再任
4	副会長	中野直	M42	再任
5	副会長	志賀新一	C42 広報委員会担当	再任
6	副会長	嵯峨兼信	C45 財政委員会担当	再任
7	副会長	池田昌憲	A47 企画委員会担当	再任
8	監事	三浦清一	M41	新任
9	監事	田仲雅美	A45	再任
10	幹事長	伊勢谷均	K54	新任
11	副幹事長	熊谷正	M48	新任

NO	役名	氏名	卒年・担当	備考
1	会長	太田光重	M31	再任
2	副会長	鈴木誠一	A38 名簿委員会担当	再任
3	副会長	土田久美子	A40 ポプラ会会長	再任
4	副会長	中野直	M42	再任
5	副会長	志賀新一	C42 広報委員会担当	再任
6	副会長	嵯峨兼信	C45 財政委員会担当	再任
7	副会長	池田昌憲	A47 企画委員会担当	再任
8	監事	三浦清一	M41	再任
9	監事	田仲雅美	A45	再任
10	幹事長	高松文仁	M56	新任
11	副幹事長	富樫義史	A-H3	新任